



JR九州連合 第30回定期大会

最大の経営危機を加盟組合・労使が一丸となって克服し、
JR九州グループで働く仲間の総結集を通じて、
将来に希望が持てるJR九州グループを創造しよう！

JR九州グループ労働組合連合会（JR九州連合）は11月13日、「最大の経営危機を加盟組合・労使が一丸となって克服し、JR九州グループで働く仲間の総結集を通じて、将来に希望が持てるJR九州グループを創造しよう！」とのスローガンを掲げ、ホテルオークラJRハウステンボス（佐世保市）において第30回定期大会を開催した。議長には宗知輝代議員（JR九州ハウステンボスホテル労組）が選出された。



幹事会を代表して挨拶した中原博徳会長（JR九州労組・中央執行委員長）は、コロナ禍において業務に奮闘する組合員に敬意を示したうえで、「新型コロナウイルスはこれまでに経験した事がない厳しい状況をもたらしており、労使を挙げてこの難局を乗り越えていく必要があることから、本年をコロナ禍からの反転攻勢の年とすべく一丸となって取り組んでいこう」と呼びかけた。また、①新型コロナウイルスからの脱却・反転攻勢に向けた取り組み、②安全の確立に向けた取り組み、③組織の強化・拡大に向けた取り組み、④年末手当・2021春闘の取り組みについて所信を表明し、「JR連合ビジョンで示された『出会い・ふれあい・語り合い』の理念のもと、組合員に必要とされるJR九州連合となれるよう精一杯奮闘する」と決意を述べた。

来賓には、JR連合から荻山市朗会長と北村公次労働政策部長に出席をいただき、荻山会長から安全の確立やコロナ対策を中心に情勢の報告をいただきながら、コロナ禍を乗り越えるべく取り組むJR九州連合に対してエールをいただいた。北村部長には、大会途中に開催した学習会において、「JR連合ビジョン」を披露していただいた。

議事では、住吉事務局長から「安全確立の取り組みが最重要課題であることは当然ながら、現在は組合員の不安がコロナに集中していることもあり、安全の確立とコロナ対策を運動のツートップとして取り組む」とした2020年度活動方針(案)などが提起された。これに対して4名の代議員から「出向や情報発信など新型コロナウイルス対策の一層の充実強化」「日田彦山線BRT化への支援要請」「グループ労組の地位向上や格差是正」「グループ会社の今後の展望」などについて意見が示され、住吉事務局長は個別に答弁した後、「様々な労働組合が結集する中で、助け合い・支え合いの精神を発揮しながら難局に立ち向かっていく。JR九州連合は各加盟組合に道標を示しながらコロナ禍からの脱却・反転攻勢に踏み出していく」と本大会を総括。全議案は満場一致で決定した。

なお、役員を選出については殆どの役員が再任され、コロナ禍の経過を熟知したメンバーで引き続き活動を推進することが確認された。

J R九州連合 第30回定期大会

質疑（要旨）



石田代議員

○ 石田正勝代議員（J R九州バス労組）

- ・ 日田彦山線のBRT化に対して、本体とも一緒に勉強していきたいと考えており、引き続きの協力を要請する。
- ・ バス会社は労働条件が低位にあり、離職者も多いことから、労働者の地位向上とグループ内での格差是正が必要である。
- ・ コロナ対策では様々な施策が検討されているが、出向についてはグループ会社内での実施が望まれている。

○ 小林亮介代議員（J R九州エンジニアリング労組）

- ・ コロナ禍において、会社からの突発的な要請が多く見受けられており、情報発信をもっと早くしていく必要がある。また、情報の出し方についても、様々な規制はあるだろうが工夫が必要ではないか。



小林代議員



河野代議員

○ 河野吉孝代議員

（J R九州リテール労組）

- ・ 年末手当交渉において、会社は本体の状況を注視している。J R九州本体の年末手当交渉について、感触・手ごたえを教えてください。

○ 吉満一大代議員

（J R九州サービスサポート労組）



吉満代議員

- ・ 当社は駅委託も受け持っているグループ会社であるが、無人化等の施策が毎年のように実施されており、今後の駅委託の展望について明らかにされたい。

○ 集約答弁要旨（住吉一家事務局長）

- ・ いただいた意見に対しては個別に答弁したが、他にも悩みや課題は多くあるのではないかと考えており、今後も情報共有と対策に努めていく。
- ・ コロナ対策について、私たちは組合員の雇用と生活を守るという責務を全うするため、目前の課題をひとつひとつ解決していくと同時に、中長期的な視点を持った対応も求められる。難しい判断を迫られる事も考えられるが、J R九州連合全体で難局に立ち向かっていく。



住吉事務局長

- ・ 安全の確立については、安全衛生委員会活動に着目した取り組みを強化する。
- ・ J R連合ビジョンを未組織グループ会社にアピールするなどして理解を得る取り組みを進める。加盟組合では未加入者や新入社員への対応に奮闘してほしい。
- ・ 年末手当交渉や21春闘は本当に厳しい闘いが想定されるが、これまで確認してきた基本姿勢を堅持して取り組む。

コロナ禍からの脱却・反転攻勢に奮起しよう